

# 入城 500 年記念事業基本方針

令和 4 年 6 月 27 日

## 1. 事業の目的

令和 5 年は、毛利元就が家督を相続し毛利氏の本拠城である郡山城に入城し、500 年という記念すべき年です。

元就は、安芸吉田の国人領主から一代で中国地方全域を制圧した戦国大名として、また「三本の矢」などの逸話で広くその名が知られています。さらに、その後の毛利氏はのちに明治維新に大きく影響を及ぼすなど、彼が残した遺産は広島県のみならず日本史上にも関わっています。

安芸高田市では、この機を捉え「毛利元就」「史跡毛利氏城跡」の価値と魅力を再認識するとともに、全市一体となってこの事業を推進することにより、「市のシンボル」「市民の誇り」としてその価値と魅力を再興し、安芸高田市民のさらなる一体感を醸成するとともに、継続的な市の発展・活性化につなげていきます。

- 安芸高田市及び安芸高田市と関係団体で組織する、安芸高田市三矢の訓連携協議会による「記念事業」を実施します。
- 市民団体等が自主的かつ自発的に実施する事業を「市民企画事業」として採択し、支援します。
- 企業、マスメディア等との連携・コラボレーションにより、市内外への情報発信と事業効果の強化を図ります。

## 2. プロジェクトチーム

記念事業を全市・全庁的な取組とするため、部局を横断した市職員をメンバーとしたプロジェクトチームを設置し、庁内外の連絡調整を行うとともに、記念事業等を実施します。

## 3. 入城記念日

1523 年 9 月 19 日（大永 3 年 8 月 10 日）から 500 年目にあたる令和 5 年 9 月 19 日（火曜日）とします。

## 4. 事業推進期間

令和 4 年 7 月 1 日から令和 5 年 12 月 31 日までとします。

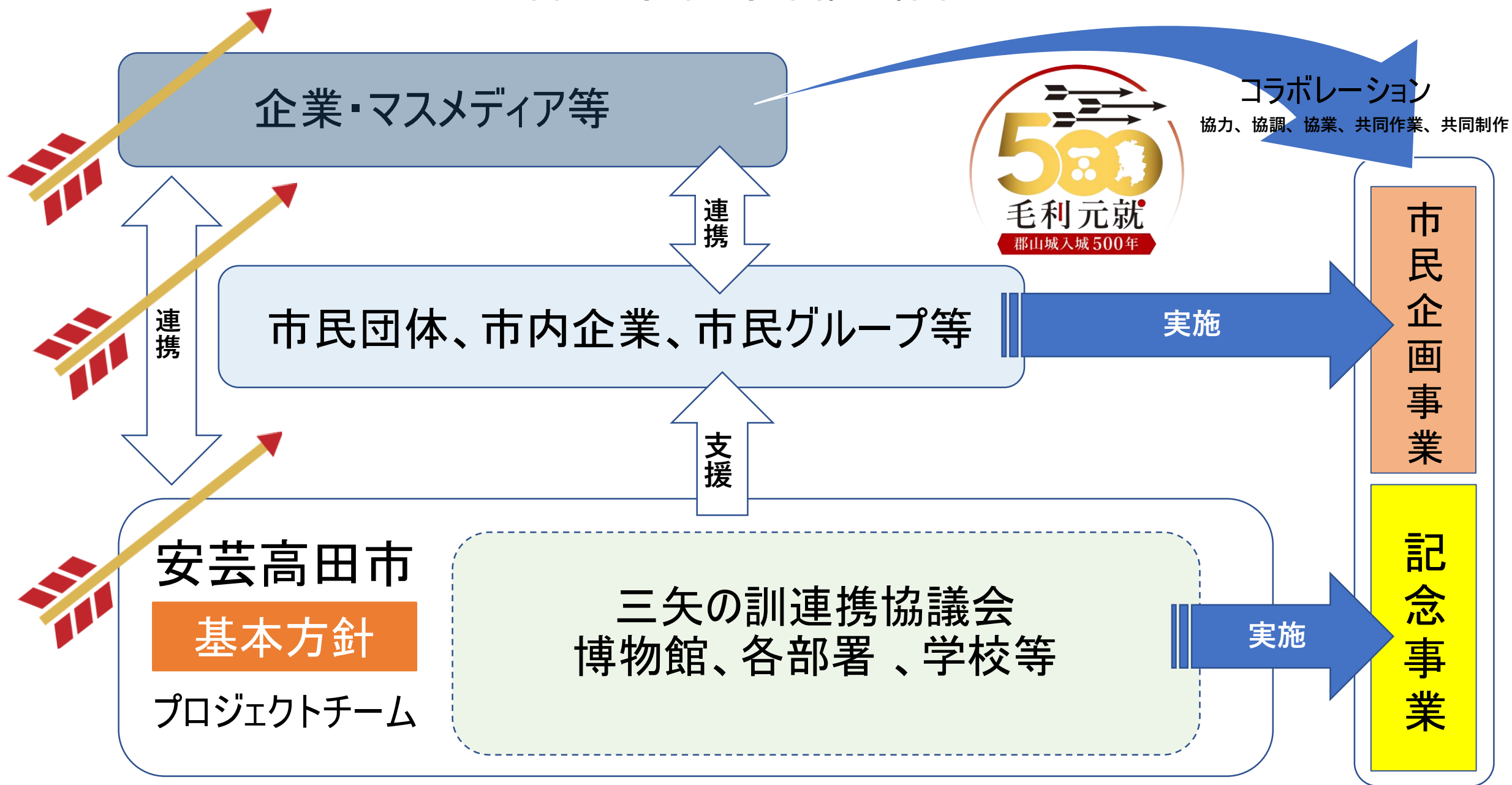
## 5. 事業推進体制

別紙 1 のとおり。

## 6. 事業構成

別紙 2 のとおり。

# 入城500年記念事業 事業推進体制



## 事業構成

区 分	実施主体	構 成	内 容	事業具体例
記念事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸高田市</li> <li>・安芸高田市教育委員会</li> <li>・安芸高田市三矢の訓連携協議会</li> </ul>	祝祭・イベント・交流事業	記念行事、市内外から参加のあるイベント、交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングイベント</li> <li>・郡山ガイドツアー</li> <li>・毛利元就フェス</li> </ul>
		史跡等整備事業	史跡毛利氏城跡及び周辺整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山城登山道の修復</li> <li>・博物館常設展示の改修</li> </ul>
		情報発信、啓発事業	気運を醸成する啓発事業及び事業に関する情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報ビデオの作成</li> <li>・「サンフレッチェ安芸高田市デー」の活用</li> <li>・広島県イベントでのPR</li> </ul>
		歴史・文化事業	歴史・文化に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館企画展、特別展</li> <li>・博物館公開講座</li> <li>・文化講演会</li> </ul>
市民企画事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民団体</li> <li>・市内企業 など</li> </ul>	市民団体等が自主的かつ自発的に実施する事業	市民団体等から申請のあった事業で市が採択したもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係の映画、コンサート等の開催</li> <li>・シャッターアート制作</li> <li>・神楽「厳島合戦」等、毛利氏関連演目の上演</li> <li>・記念グッズの開発</li> <li>・飲食メニューの開発</li> </ul>
企業、マスメディア等との連携・コラボレーションにより、記念事業・市民企画事業の情報発信、事業効果の強化を図る。				

※事業具体例は実施未定の内容を含みます。